

みちしるべ

みずからのために道しるべを置きみずからのために標柱をたてよ（エレミヤ31:21）

人になれ 奉仕せよ

聖句： 神は愛です。（ヨハネの手紙Ⅰ 4章16節） 今月の聖書のみことばです。年長組は暗唱します。

保育目標：	0歳児	・心地よい環境の中で安心して過ごす。
	1歳児	・安心して保育者と一緒に遊ぶ。
	2歳児	・先生や友だちと好きな遊びを見つける。
	3歳児	・喜んで登園し、好きな場所や友だちを見つける。
	4歳児	・安心して過ごし、自分のやりたいことを見つけて遊ぶ。
	5歳児	・進級したことを喜び、友だちと遊びを楽しむ。

桜のつぼみが膨らんだまま数日の寒さによって花開くのを待っていたようです。4月に入って少しずつ咲き始めた桜は今、満開となり子どもたちの進級や入園の歓びに彩りを添えてくれています。

進級、入園、おめでとうございます！

いよいよ、2025年度の歩みが始まります。こども園では、保育利用時間の違い（長・短時間）があっても子どもたちの生活は『自分の好きな遊びや人、場を見つけること』『心と身体を様々な動かしで過ごす中で他者との関係をつくること』『自分のタイミングとペースで自分の世界を広げ、満足のいく体験や経験を積み重ねること』です。私たち（大人）はこれらのことを大切にして子どもの姿や表情、言葉、身体の動きからその人の心の在り様を探り一緒に考え、その人を支える存在として傍らにいられるように自らの目や耳、心の感度を高めています。一人の力では足りないところは、先生たちがチームになってよりよいものをこれからも求めていきたいと思います。そして、子どもも大人も目に見えない大きな存在を感じて守られている、愛されていると安心できる環境を整えていきます。

4月は園の中に新しい風が吹いています。それは時には心地よく、時にはざわざわとして伝わってきます。3月までとは違う雰囲気を感じているからでしょう。時を重ねていくうちに混ざり合っでこども園を流れる心地よい風となっていくように子どもたちと生活を創っていききたいと思っています。保護者の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

1日（火）は六浦こども園集いの日でした。乳児・幼児（2号認定）クラスの子どもたちや保護者の方たちが3階いのりのホールに集まり、神さまと出会い、これから始まる園生活が一人ひとりに良いものとなりますようにと祈りました。少しずつ園生活に慣れていけるように園での滞在時間を延ばしながら、子どもたちは先生と関係づくりをしています。子どもたちの『？』が『！』に変わるように一緒に遊んで考えて支えています。

1号認定で入園してくる子どもたちも同じように滞在時間を延ばしながら、先生と関係づくりをして自分の安心スペースを見つけていく事でしょう。一人ひとりの必要な時間を使って安心していけるように私たちは支えていきます。急ぐことはありません。その人のペースとタイミングが守られる中で自分の好きなものは見つかるのですから…また、必要な時間だとわかっていても中々大人はそれを見守っていることが難しいので、何か心配や不安になったら先生たちに声をかけてください。私たちも子どもたちの心配や不安に寄り添うことやそれが少しでも安心に変わっていけるように願いながら、生活をしていきます。

安心していくと子どもたちはどんどん自分のタイミングで力を発揮し、興味関心のあることを探索していきます。小さな経験が育ちのエネルギーなのです。その小さなことを見落とさず、大切にして歩んでまいります。この時期は特にご家庭との連携が大事です。必要な事は必ずご家庭にお伝えしますので、ご家庭で気になることがありましたら私たちにも教えてください。お子さんを真ん中にして園とご家庭が協力してお子さんの育ちを支えていきたいと願っています。

これから始まります六浦こども園の生活が神さまとともにあり、愛され守られていきますように心から願い求め祈ります。

園長 鈴木 直江